

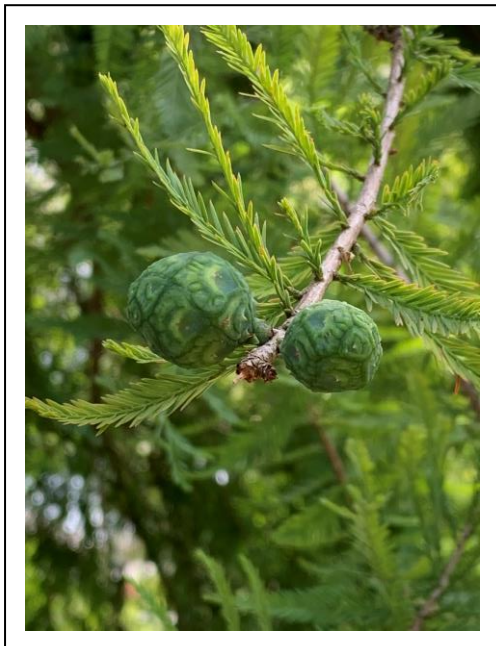
## 2020年 幾代会 7月観察会 実施報告

報告者 中部喜和

観察場所 八王子市 片倉城跡公園

日 時 7月12日(日) JR片倉駅→片倉城跡公園→片倉駅 9:10~11:50

参加者 越前 石川 宇津木 羽深 須崎 中部 (6名) 下見 中部、越前



メタセコイヤ  
の実

北村西望お気  
に入りの公園  
彫刻が20体  
ほど

まだ、出来たばかりのメタセコイヤの実、外見の様子はとても面白い。秋の種がはじけた実を拾うことはあるが、今どきの美しい実は素晴らしい。

その他、住吉神社付近のカヤノキ オオツクバネカシ(ツクバネカシとアカガシの交配による)アカガシは南方のもの。高尾山が植物の南と北を分けるということだから、これもなるほどといわせる内容である。公園入口のラクウショウ ヒトツバタゴ(入り口の真ん中にあるのだがいじめ過ぎたのだろうか、勢いが今一つ)

公園は北側を東西に流れる川と西南から東北に流れて合流するところに丘陵が突き出る形である。丘陵部の先端であり、ところどころに湧水が見られる。この湧水を利用して池が作られ花菖蒲などが植えられている。宇津木さんによれば北側の川は50年前、泳いで遊んだ場所だという。二の丸の南側は畑が一面に広がっており、枝豆が収穫の時期を迎えていた。

今回観察された植物は ヤマユリ、クサギの花 オニグルミの実 シュロソウ オニドコロ、アキノタムラソウ オヤブジラミ ハンゲショウ ミゾソバ スイレン ヤブカンゾウ ガマ ホタルブクロ ドクダミ コウホネ チダケサシ マユミの実 ヒヨドリバナ イヌガヤ ネジバナ

今夏は難しいかじ取りである。梅雨に重ねて新型コロナがここ連日200人を超える患者が出たと大騒

